



平成 28 年度（2016 年度）の学校経営方針



広島大学附属福山中・高等学校
校長 渡辺 健次

広島大学附属福山中・高等学校は、そのミッションを以下のように定め、下記に掲げる教育理念に基づく学校教育目標の実現に向けて、教職員が協働して絶えざる努力を払います。

1 附属福山中・高等学校のミッション

本校は、教育基本法ならびに学校教育法に基づいて中等普通教育を施し、広島大学の附属中・高等学校として、以下の事項を特別の任務とする。

- (1) 広島大学と密接な連携のもとに、中等教育の理論および実践に関する高度な研究を推進する
- (2) 広島大学と密接な連携のもとに、その学生の観察・参加・実習に当たる
- (3) 長きにわたる中高一貫教育の伝統に基づき、高度な教育研究を実践し、その成果を積極的に公開する

2 附属福山中・高等学校の教育理念（目指す生徒像）



- ・フロンティア精神をもって、絶えざる創造と自己更新を続ける人間
- ・21世紀、地域社会に根ざしつつ、国際社会に目を向ける人間
- ・自由と自主の精神をもって、学問を探求し創造する人間
- ・学問探求における論理的・批判的思考力と科学する能力をそなえた人間
- ・自由と自主の精神をもって、日本と世界の真に豊かな社会を構築する人間

3 附属福山中・高等学校の教育目標（学校全体としての教育目標）

- ・自由と自主の精神を追及し、豊かな教育環境を創造する。
- ・豊かな教養と確かな学力を保証し、生徒個々のニーズに応じた進路を実現する。
- ・備後を中心とした地域社会に貢献する人材を育成する。
- ・グローバル社会をリードする人材を育成する。
- ・質の高い教育実践を追及し、先導的な中等教育カリキュラムを提案する。

4 附属福山中・高等学校の平成28年度学校経営目標

(1) 学校経営

- ・情報発信力を強化し、教育研究活動の成果を中心とした学校の情報を積極的に公開し、効果的な情報発信に努める。
- ・生徒および教職員の健康と安全が保障されるよう、より快適で安全な学校環境を実現する。
- ・学校運営の必要な見直しを行い、その改善を図り、効率的な運営を行う。
- ・教育助成会、教育後援会、同窓会（オリーブ会）との緊密な連携を図り、教育環境の整備・充実を進める。

(2) 教育活動

- ・「人間性」「創造性」「社会性」の教育理念を尊重し、日常の教育活動を推進する。
- ・1962年に導入した中・高一貫教育をさらに積極的に推進する。
- ・授業、クラブ活動、学友会等、学校全体の教育活動を通して、学年を超え、クラスを超えた協働の学びを充実させる。
- ・中高一貫教育の特質を活かし、中学1年次より系統的にキャリアガイダンスを実施し、生徒一人ひとりのニーズに応じた進路指導をさらに徹底する。

(3) 研究活動

文部科学省スーパーグローバルハイスクール（SGH）の2年次の取り組みとして、以下の3つの観点を中心に研究活動を推進する。

- ・課題研究「グローバルプログラム」、課題研究特別講座「スーパーグローバル」、新教科「現代への視座」「課題研究への誘い」、「既存の教科」等の取り組みについて開発と検証を行い、カリキュラムの評価・改善を行う。
- ・グローバルリーダーに求められる資質・能力の構成要素について検討し、それらを評価するためのルーブリックなど、評価方法を開発する。
- ・広島大学を中心に、他の機関と積極的に連携することを通して、連携のあり方・内容等について多方面に検討を行う。

(4) 教育実習

- ・広島大学との連携のもとに、教育実習の質保障を図る。
- ・教育学研究科の各講座と連携して、高度な実習を提供する。
- ・教職大学院との連携による教育実習について検討する。
- ・グローバル教員養成プログラムにおける教育実習のあり方について検討する。

